

効率的な整理

Q 4 使いやすい、効率的な整理の方法はないですか？

1 見つけやすくする工夫

(1) 器材の所在を明確にする。

- ・戸棚、引き出しにラベルをはる。(写真やイラストにすると中が見えなくても効果的 児童生徒にも分かりやすい)
- ・器具・器材の配置図(理科室地図)をつくり、入り口近くに掲示する。必要があれば各教室や、職員にも配付する。

(2) 使用頻度の高いものを取り出しやすい位置に配置する。

- ・ガラス器具なども頻度を考えて、それぞれを取り出しやすい所に保管する。
- ・関連性のあるものはまとめて近くの棚などに保管する。
- ・スペースや設備があれば、ビーカーや試験管など教師が使うものを教壇に近いところに小量保管する。(実験や説明の時さっと取り出せるように)

2 取り出しやすく、収納しやすい工夫

(1) 小物を上手に収納する。

- ・ボックスなどを利用して、小物入れをつくり保管する。
- ・フィルムケースなどを利用して薬品(亜鉛粒など)を班の数に小分けする。

3 整頓、管理しやすくする工夫

(1) 破損したものの始末

- ・破損したものはきちんと分別する。
- ・破損による数量の変化を把握する。(整理台帳を作成し定期的に点検する)

(2) 正しい使い方をさせる工夫

- ・備品等の簡単な操作法などのマニュアルカードを作る。

理科の実験は準備と後始末にたくさんの時間がかかります。いろいろな器具・器材の取り出し、片づけを簡単にすることで、使いやすい理科室にすることが大切です。そうすれば、実験がしやすくなり、数多くの実験を行うようになるのではないのでしょうか(期待をこめて)。

また、今まで教師がしていた準備も、理科室をわかりやすく整備することで、子供たちもある程度訓練すれば出来るようになり、ますます実験が楽しく魅力的になり、効果も得られると思います。

理科室には、たくさんの器具・器材があり、安全面など普通教室以上の管理が必要です。普段あまり使うことがない部屋かもしれません。しかし、使いやすい分かりやすくし、低学年の時から数多く使用することを心がけ、教師・児童にとって普通教室と同じように使い慣れた教室にすることが大切です。そのための工夫を理科の得意な教師に任せるのではなく、学校全体で考えていくことが大切です。